

**R7年10月放送分**  
**「東北防衛局における周辺対策事業について」**  
**(日本の防衛Q & A)**  
**(自衛隊百科)**

**R7.9.24 収録**

【パーソナリティー】

本日は、「東北防衛局における周辺対策事業について」をテーマに、東北防衛局から職員3名の方にお越しいただきました。よろしくお願いいたします。

【職員3名（松山、天野、齊藤）】

よろしくお願いいたします。

【パーソナリティー】

はじめに自己紹介をお願いします。

【松山】

はい、周辺環境整備課の松山と申します。今年4月に青森県の東北町役場から、人事交流で異動してきました。日本で唯一、湖に住所のある小川原湖がある町で、しじみがおいしいです。よろしくお願いいたします。

【天野】

同じく周辺環境整備課道路係の天野です。採用6年目で、現在の担当は2年目となります。出身は宮城県名取市です。よろしくお願いいたします。

【齊藤】

同じく周辺環境整備課、障害防止係の齊藤です。採用3年目になります。出身は大河ドラマ「八重の桜」の舞台にもなりました福島県会津若松市です。よろしくお願いいたします。

【パーソナリティー】

それでは、今回のテーマの「東北防衛局における周辺対策事業につ

いて」、お願いします。

【松山】

それでは始めに、私、松山が概要についてお話しさせていただきます。

周辺対策事業とは、自衛隊や米軍が行う訓練や防衛施設が所在することで生じる障害を防止あるいは緩和し、その周辺地域の生活環境の整備に必要な措置を行う事業のことで、住民の皆様の生活の安定や福祉の向上に寄与することを目的としています。

【パーソナリティー】

なるほど、防衛施設と周辺地域との調和を図られているんですね。

【松山】

はい、東北防衛局では半世紀以上にわたり、防衛施設の周辺地域の負担軽減に努めてきました。これから紹介する事業以外にも、飛行場等周辺の学校や住宅の防音工事への助成、建物などの移転補償、緑地帯の整備なども行っており、これらの施策をまとめて「基地周辺対策」と言われています。

【パーソナリティー】

ちなみに東北防衛局における基地周辺対策の年間予算は、どのくらいなのでしょう？

【松山】

はい。当局管内における基地周辺対策の今年度予算は約100億円弱となっております。

この中で当課が担当する周辺対策事業は、大きく3つあります。

【パーソナリティー】

その3つとは、どのような事業なのでしょう？

【松山】

1つ目は河川や道路の改修などを行う「障害防止対策事業」。

2つ目は公園や消防施設などを整備する「民生安定施設助成事業」。

3つ目は公共用施設の整備や生活環境の改善に寄与する「交付金事業」になります。

【パーソナリティー】

それぞれの事業について、少し詳しくお話ししていただけますか？

【齊藤】

はい。私齊藤が一つ目の事業「障害防止対策事業」についてお話しいたします。

障害防止対策事業では、自衛隊などの行為によって生じる障害を防止、軽減するための工事を行う自治体に対して、その費用の全部又は一部の補助を行っています。

【パーソナリティー】

自衛隊などの行為によって生じる障害とは、どのようなものでしょうか。

【齊藤】

自衛隊などが砲撃や射撃、戦車の走行訓練を行うことで、演習場内の山などが荒廃してしまいます。その結果、山の保水力が低下して、降った雨が通常の山よりも流れやすくなり、洪水被害や土砂流出被害、用水不足が発生しやすい状態となります。

【パーソナリティー】

それらの障害に対して、どのような工事が対象となるのですか。

【齊藤】

河川の改修、砂防ダムや貯水用ダムの整備、飲料水の不足や汚濁を防止・軽減するための施設なども対象とし、環境整備法第3条に基づき「障害防止工事の補助」を行っています。

【パーソナリティー】

現在行っている事業には、どのようなものがありますか。

【齊藤】

はい。宮城県の王城寺原演習場周辺の農業用水不足を解消するため、ため池や用水路の整備を行っています。岩手県の岩手山中演習場周辺では、飲料水対策事業として、水道施設の更新を行っています。

【パーソナリティー】

次に二つ目の事業について教えてください。

【天野】

はい。二つ目の事業「民生安定施設助成事業」について、私天野からお話しいたします。

この事業は、防衛施設の周辺にお住まいの方々の生活や事業活動上の障害を緩和することを目的として環境整備法8条に基づき「民生安定施設の助成」を行っています。

対象としては、公園、消防自動車、防災無線、道路、農業用施設の整備など、生活環境施設や事業経営の安定に寄与する施設で、これらの施設の整備を行う自治体に対し、その費用の一部の助成を行っています。

【パーソナリティー】

現在行っている事業にはどのようなものがありますか。

【天野】

宮城県仙台市で実施している道路改修等事業として、自衛隊車両が通行することによる自転車や歩行者への危険を解消するため、道路の拡幅工事を実施しています。

【パーソナリティー】

確かに、道路が広くなれば危険も少なくなりますね。それでは、最後に三つ目の事業についてお願いします。

【松山】

はい、それでは、私松山から三つ目の「交付金事業」についてお話しさせていただきます。

特定の防衛施設周辺地域の生活環境や開発への影響を和らげること

を目的とした施策として、環境整備法9条に基づき「特定防衛施設周辺整備調整交付金」の交付を行っています。

特徴としては、先ほどの2つの補助事業は、自治体から補助事業計画書を提出していただき、毎年予算を要求しているのですが、こちらの調整交付金は、防衛施設の面積や訓練の実施状況など、周辺地域に与える影響の程度を基に算定した額が毎年交付され、自治体の裁量で交付された金額の範囲内で、様々な事業に活用されています。

【パーソナリティー】

そのような違いがあるのですね。こちらの調整交付金の対象となるのは？

【松山】

はい。この交付金事業の対象は、例えばジェット機が離着陸する飛行場や砲撃などが行われる演習場などがある市町村を指します。

広大な面積を占める防衛施設があることによって、生活環境や周辺地域の開発に著しい影響を受けていると考えられる市町村に活用して貰っております。

【パーソナリティー】

具体的にはどの様に活用されているのでしょうか？

【松山】

はい、交付金に関しては、多様なニーズに対応できるよう幅広く対象事業が定められており、上下水道や道路などの公共施設の整備のほか、子ども医療費助成事業など、多岐に渡ります。

【パーソナリティー】

活用できる事業の選択肢が多いのは、自治体にも喜ばれそうですね。

【松山】

はい、例えば、さきほど例に挙げた子ども医療費助成事業では、子育て環境の充実は勿論ですが、受診控えを未然に防ぐ側面もあり、子どもの命を守ることに繋がっていると伺ったことがあります。

【パーソナリティー】

なるほど、自治体も社会情勢を考えた上で、色々工夫して有効活用しているのですね。

ここまで周辺対策事業について、色々お話しを聞かせて貰いましたが、最後に業務についての感想や、なにか印象的なエピソードがあれば教えてください。

【天野】

私天野が担当している道路改修等事業は、事業完了まで10年以上を要するものもあり、完成した道路を通行した時は感慨深いものがありました。

【齊藤】

私齋藤は、今年の夏、水不足が騒がれましたが、農業用のため池や用水路の整備といった施設の整備に携わり、地域の方々に喜ばれる点にやりがいを感じています。

【松山】

私松山は、これから人事交流による東北防衛局での貴重な経験を積んで、印象的なエピソードを沢山増やしていきたいです。

改めまして、東北防衛局としては、これからも防衛施設周辺の自治体の皆様からの要望に応じていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

【パーソナリティー】

次回の東北防衛局における周辺対策事業については「学校などの防音工事・住宅防音工事」を12月にお届け予定です。

本日は、松山さん、天野さん、齋藤さんにお話をお聞きしました。ありがとうございました。

【職員3名（松山、天野、齋藤）】

ありがとうございました。

**【パーソナリティー】**

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。